

修学旅行へのご協力、ありがとうございました。

向夏の候、保護者の皆様には日頃は本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。また修学旅行においては、準備から送迎まで数多くの場面でご支援をいただき、ありがとうございました。仲間とのきずなを深めたり、学年合唱をパワーアップさせたりと手にしたものは数え切れない3日間となりました。

6月後半からは、部活動最後の夏の大会や進路の方向性を決める保護者会など、まだまだ盛りだくさんの日々が続きます。3年部職員一同、生徒たちのさらなる活躍のために、精一杯サポートしていくたいと考えています。よろしくお願ひします。

学年主任 高須 優典

修学旅行の振り返りより・・・

先日の修学旅行の生徒の振り返りになります。さらに学年として、レベルアップしていきたいと思います。

今回の修学旅行では、多くの人が責任のある行動を心がけていたと思います。ですが、その中にはルールを守れず、指導を受けている人もいました。集団で生活することは、一人でいるときよりも、より一人一人の責任のある行動が大切なんだとと思いました。「これぐらいいいだろう」「ばれないだろう」と他人ごとのように思っている人が一人いるだけで、周りを引っ張り、迷惑をかける。そのことを学年全員が知れば、よりまとまりのある学年になると思います。

これから受験や、幸中祭、合唱コンクールがあります。そこでは、もっと集団のまとまりが大切になってきます。一人一人が責任のある行動をし、今回見てきた大きな企業や、たくさんの人の中（社会）にいても恥ずかしくないような社会人になれるよう、残りの約10ヶ月生きていくたいです。

1組



今回の修学旅行では、特に何か役割をもっていたわけではないけれど、私は「あいさつ」と、「時間を見て行動すること」を意識して過ごしました。みんなと気持ちよく行動するためには、自分からあいさつをすることや、時間に遅れずに動くことが大切だと思いました。実際に、班別で行動したときには、みんなと協力して電車に乗ったり、事前に調べていた情報を確認したりしながら目的地に向かったりするなど一人ひとりの行動が全体に影響することをすごく感じました。班の中で誰かが気を抜いてしまうと、スムーズに進まなかったり、周囲に迷惑がかかってしまうこともあったりすると思います。だからこそ、自分の行動に責任をもつことが大切だと実感しました。しかし、クラス別研修では、私自身が時間を間違えてしまい、クラスのみんなに迷惑をかけてしまいました。「時間を作る」という意識が足りなかつたのではないかと思います。その時は本当に申し訳ない気持ちでいっぱい、「もっとちゃんと話を聞いて確認しておけばよかった」とすごく反省しました。この経験から、責任ある人になるということは、自分自身をしっかりと管理するだけでなく、自分の行動が周りに与える影響も考えて行動することなんだと気付きました。これからはただ時間を守るだけでなく、「人に信頼される行動」を意識していきたいです。あいさつを大事にすること、正確に行行動すること、困っている人がいたら声をかけることなど、小さなことをコツコツ積み重ねて、もっと責任感のある人に成長していきたいと思います。そして、そのような日々の積み重ねを通して、あいさつや協力も大切にしながら、まわりの人から信頼されるような責任ある人になっていきたいです。

3組



今回の修学旅行では、とても楽しい充実した3日間だったけれど、中には全体で指導されてしまうこともあります。外に出るにはルールやマナー、時間など守らないといけないことがあるのに、それができないときがありました。このままだと、まだ最高学年として手本になる存在、姿がではないと思います。だからこそ、今回の修学旅行で指導を受けたことや、班別学習などで分かった働く意味を忘れないことが必要だと思います。それらを忘れず、これからは学校生活で変えていくことで、より責任がある人になっていき、最高学年としての在り方が分かり、その姿になっていくと思います。これから大人になるために、今まで以上に将来について考えていくことが増えると思います。大人になるにつれ、外に出る機会が増え、ルールやマナー、時間を守ることがとても必要になってきます。今のうちから気持ちを切り替えて、大人になる覚悟をもち、意識を変えていくことも責任ある人になるために必要なことだと思います。

2組



修学旅行では、集団で生活したり、公共の場所で過ごしたりすることで、「時間」や「ルール・マナー」を守ることの大切さを改めて知りました。特に事業所の時間に間に合わなかったりすると、自分だけじゃなく事業所の方にも迷惑が掛かってしまい、さらに自分でなく、幸田中学校全体の信頼を損なうことになるから、自分としてもとても責任を感じながら行動をしました。

また、ディズニーでは、退園する「時間」を守ったり、園内は走らないといった「マナー」を守る、来た人から先生に報告するという「ルール」を守る。これらの「責任」を果たした上で、初めて「自由」な行動が許されると思います。自分はしっかりと「責任」を果たして、楽しむことができました。また、事業所のキャノンの方も、「仕事をするときに大切なことは、自分の仕事を全うして、他の人にも気を配ること。それで初めて仕事がスムーズにできるんだよ」とおっしゃっていて、キャノンほどの大企業の方でも「責任」には気を使っていたから、「責任」を果たすことの大切さを改めて知りました。いずれ社会に出たときに「責任」を果たすというのは、大切なことだと思うから、今回の修学旅行で学んだことを生かして、さらに「責任」のある行動をしていくようにしたいです。

4組

修学旅行の三日間の中で、貴重な体験をたくさんさせてもらいました。その中で、先生がいつも言っていた、「時間」。このハードスケジュールな三日間の中でどれだけスムーズに一人一人が時間を見て、行動できたかが大事だと思います。だれか一人でも集合に遅れると、全体も遅れてしまうので、集団で動くということは、自分だけでなく、学年全体に責任がかかっていくのだと思います。その一人一人の責任の重さを、これからも感じながら、生活していくと思いました。また、一人一人が、この責任をしっかりともって動けば、おのずと一人一人の動きも、全体の動きも変化していくと思います。これから忙しくなって、ハードなスケジュールが日常的になると思います。そこでどれだけ自分たち一人一人が動けるかが鍵になります。修学旅行前とは一味ちがう3年生になったと思ってもらえるように、気を引き締めて生活をしていきたいなと思います。また勉強も、今だけじゃなく、自分の将来を見つめて、計画的に進めていきたいと思います。

5組



〈今後の予定〉

7月

5日(土)、6日(日)
9日(水)～11日(金)
17日(木)
18日(金)

岡幸大会
保護者会(三者懇談)
給食終了、通学団会、大掃除
1学期終業式

12日(土)、13日(日) 岡幸大会
11日(金) 後期生徒会役員選挙